

## 原道小学校感染対策5月版

養護教諭

## 1 感染対策1日の流れ

## (1) 登校時の手指消毒

- 玄関前で手指消毒する。



## (2) 健康観察

- 児童一人一人の体調を確認する。(顔色・げんきアップカード)
- 体温未記入の者は検温し記入させる。
- 養護教諭は、児童の様子やげんきアップカードから必要な場合に、早退の対応をとる。
- ※ 迎えに来る保護者には校庭側から保健室に来るよう伝える。
- 欠席・出席停止の扱い



- ・ 出席停止とする

- ◇ 児童が陽性又は濃厚接触者 ⇒ 「新型コロナウイルス感染症聞き取りメモ」で聞き取る。  
※PCR検査を受ける場合も、検査日と結果が出る日を聞き取る。

- ◇ ワクチン接種・副反応

- ・ 登校を控えるようお願いする=但し保護者判断で登校も可とする(出席停止)

- ◇ 児童や同居家族に風邪症状がある場合
- ◇ 児童や同居家族がPCR検査を受ける又は受ける可能性がある場合
- ◇ 同居家族が濃厚接触者、

- ・ その他の感染不安=保護者判断(出席停止)

例：児童が感染の可能性があり、感染を拡大させてしまうかもしれない不安

- ・ 病欠：けが、既往症等の通院

## (3) 手洗い・手指消毒・マスク

- ハンカチ・ティッシュ忘れば貸し出し、マスク紛失等は学校備品を渡す。

## (4) 「3密」回避の徹底

- 常時、対角線上2方向の窓を開けて(最低10~20cm幅)換気する。
- ※ 測定器でCO2濃度が1500ppm以下、加湿器を使用し湿度30%以上となるようにする。
- 身体的距離が保てるような並び方や座席の向きに配慮する。



## (5) フェイスシールドの着用と消毒

- 向かい合う活動をする際は、マスクとフェイスシールドを併用する。
- 音楽の授業等で楽器演奏に伴いマスクの着用が難しい場合は、身体的距離を保った上でフェイスシールドを活用する。
- 使用した日の下校前までに消毒する。



## (6) 給食

- 机は向かい合わせせず前向きにし、会話を控える。(歯みがきも同様に。)

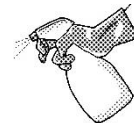
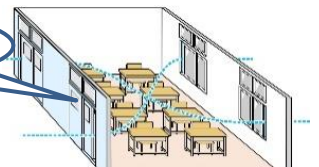
## (7) 清掃

- 通常の清掃活動の範囲で清掃し、特別な消毒作業の必要はない。

## (8) 放課後の消毒作業

- 日直はドアノブや階段手すり等、大勢が触れる箇所を消毒する。

CO2 : 1500ppm 以下



## 2 学習活動

- 歌唱や調理実習は中止する。
- 体育、理科の実験、図画工作は、マスクや3密等の対策の上で慎重に行う。
- 集会等で全校が集まる場合は、外またはGoogle meet等でオンライン開催する。
- ※ 異学年交流、校外学習等の中止又は延期
- 身体の抵抗力を高めるため、「十分な睡眠」「適度な運動」「バランスの取れた食事」について指導する。

## 3 感染者が発生した場合

- 保健所の指示に従い、行動歴の確認や消毒作業、臨時休業等を実施する。
- 学校医、学校薬剤師と連携し、対策を実施する。
- ガウン、ゴーグル、ヘアキャップ、シューズカバー、手袋、消毒液、抗原検査キット等は保健室保管済み。

## 4 教職員の健康管理

- 毎日検温し記録しておく。感染症予防に十分配慮し、体調がすぐれない場合は、無理をせず管理職へ連絡し休暇の対応をとる。出勤後に発熱等の風邪症状がある場合、抗原検査キットを使用してもよい。

## 陽性者発生時の対応

【学級で陽性者が1名発生】

〈例1: 拡大PCR検査ができない場合〉

通常授業を行いつつ3日間程度 体調の変化を注視する。

↓

他の児童に陽性者が1名以上出た又は発熱等の体調不良者が複数出た場合

↓

2日間程度 学級閉鎖とする。

★これまでは、翌日から2～5日間の学級閉鎖となっていましたが、「通常授業を行いつつ」健康観察をする対応となりました。

★現状、拡大PCR検査はできない様で、上記の対応となりそうです。

---

《例2: 対象学級全員を市の拡大PCR検査ができる場合》

拡大検査実施

↓

2日間の自宅待機（出席停止）

↓

例2-1: 他の児童に陽性や体調不良者がなければ3日後から通常授業

例2-2:                   "                   が出たら3日間程度の学級閉鎖